

平成22年2月

# 水田栄之助 学位論文審査要旨

主 査 重 政 千 秋  
副主査 渡 邊 達 生  
同 久 留 一 郎

## 主論文

Leptin gene and leptin receptor gene polymorphisms are associated with sweet preference and obesity

(レプチンおよびレプチン受容体遺伝子一塩基多型は甘味嗜好性および肥満と関連する)

(著者：水田栄之助、小久保喜弘、山中到、宮本恵宏、岡山明、吉政康直、友池仁暢、森崎裕子、森崎隆幸)

平成20年 Hypertension Research 31巻 1069頁～1077頁

## 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は生活習慣病の新しい診断法の確立を目指すべく、個々の甘味嗜好に着目し、甘味嗜好と各生活習慣病との関係、およびレプチン受容体遺伝子一塩基多型 (LEPR R109K多型) が甘味嗜好の変化を介して肥満に影響することを明らかにした研究である。個々の体質を説明しうるといわれる遺伝子一塩基多型の中でヒトの味覚に影響を与えるものは未だ報告がなく、味覚を含めた生理学の分野で価値のある研究であると考えられ、また生活習慣病、特に肥満の新たな危険因子の発見という観点から臨床医学の分野においても有用な研究であると考えられる。本論文内容はトランスレーショナルリサーチを実践した優れた内容であり、明らかに学術水準を高めたものと認められる。